

漁業者によるサキグロタマツメタの駆除効果

福島県水産試験場 相馬支場

1 部門名

水産業—その他—漁場環境、アサリ

2 担当者

富山 毅

3 要旨

松川浦では他海域由来の巻貝サキグロタマツメタによるアサリの食害が確認されており、漁業者がアサリ漁業の際に混獲されるサキグロタマツメタ成貝を駆除している。アサリ資源保全の基礎的知見として、現況の駆除量がどの程度の効果を有しているかを推定した。

- (1) 2008年に漁業者が駆除したサキグロタマツメタの殻高は16.5～57.2mm、平均33.2mm(体重8.3g)であった。同年の駆除量は447kgであった。
- (2) 2008年7～8月に、砂とアサリを入れ、海水をかけ流しにした小型水槽にサキグロタマツメタを個体別に収容し、1日あたりの捕食数を求めた。殻高10mm台では2日に1個、30mm台では5日に1個程度を平均で捕食した(図1)。
- (3) 殻高33mmのサキグロタマツメタが捕食するアサリの平均サイズは殻長25mm、体重8gで、捕食量は1年に73個と推定された。駆除したことで394万個、32トンのアサリ食害を防止したと推定された。

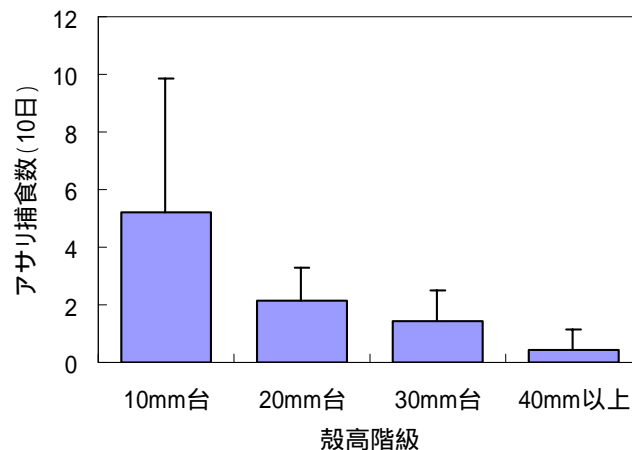


図1 サキグロタマツメタの10日間あたりアサリ捕食数
(平均値と標準偏差で表す)

4 主な参考文献・資料

- (1) 佐藤利幸(2008)福島県松川浦におけるサキグロタマツメタ移入の経緯と現状 日本生態学会東北地区会報 68, 41-43.
- (2) 富山毅(2008)福島県松川浦における外来性巻貝サキグロタマツメタによるアサリの食害 第1回国際アサリシンポジウム講演要旨集p25.
- (3) 福島県(2009)平成20年度環境・生態系保全活動支援調査実証事業報告書.